

会議録（要旨）

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議事

（1） 市民活動推進委員会の検討経過及び令和5年度のスケジュールについて ＜事務局説明＞

事務局より、資料に基づき説明を行った。

＜委員からの意見＞

- ・ 平成30年度及び令和3年度の提言をより具体的に検討するべきと考える。
- ・ 本委員会の議事について、令和5年度第2回以降の会議は、運営委員会として協議・検討をしていくのか。運営委員会とは、令和3年度の提言書に記載があった“やしお生涯楽習館の実施事業をより効果的に実施していくためには、新たな視点で助言等を行う「（仮称）運営委員会」”を指すのか。

⇒（事務局）令和3年度の提言書では“将来的にやしお生涯楽習館を市民活動支援センターとして位置づけ、市民活動支援に注力していく場合には、「（仮称）運営委員会」において市民活動支援センターの運営方針や事業展開などについて検討していくことも必要”と方向性を示しているが、やしお生涯楽習館が公設公営である現段階から、より効果的な事業運営のためには運営委員会が必要と考え、令和4年度第3回会議の際に、今期よりやしお生涯楽習館の運営について助言等をいただくことを事務局から連絡している。

また、運営委員会の役割を市民活動推進委員会で担うことについては、市民活動推進委員会が既に市の附属機関として設置されており、職務である「市民活動の推進に関する事項の調査審議」に、市民活動の拠点であるやしお生涯楽習館の運営について協議を含むものと考えている。さらに、運営委員会には今までの市民活動推進委員会の検討経過を踏まえて助言をいただくことが望ましいと考え、新たな組織を設置するのではなく、市民活動推進委員会に運営委員会の役割を担っていただくこととなった。

- ・ 令和5年度のスケジュールでは、第4回会議までしか記載がない。やしお生涯楽習館の事業運営について協議するためには会議回数が足りないのではないか。
⇒（事務局）資料については、あくまでも今年度中の予定として掲載している。令和6年度以降も議事は継続していくこととなる。
- ・ 今後の検討課題を明確にしたほうが議論が発展するのではないか。
①市民活動の推進のために何ができるか②市民活動支援コーナーを充実させられないか③提言書を提出、といった今までの流れを踏まえ、今期の委員会でやしお生涯楽習館の事業運営についてどういった意見を述べるべきなのか漠然としてしまっているように感じる。

＜小委員会の委員選出について＞

今期は松澤委員長、西田副委員長、佐川委員、木村委員の4名で構成することが決定した。

⇒ 令和5年度のスケジュールについては事務局案のとおり決定した。

(2) やしお生涯学習館の事業運営について

＜事務局説明＞

事務局より、資料に基づき説明を行った。

＜委員からの意見＞

- ・ 定期的（週1回など）に市民向けの教室などを開催する団体に対して、優先的に部屋を予約するといった対応がとれないか。
- ・ 外国人市民向けの日本語教室を行う団体が市内に4団体あるが、開催日に毎回、重い教材を持ち歩いている。拠点のような部屋があれば、教材の管理や共有ができ、各団体が活動しやすくなると思うので検討してほしい。
- ・ 市民活動を行う各団体の備品などを置けるようなスペースを新設することについて、検討が必要ではないか。貸し館だけでは、市民活動の拠点としては機能が弱いと考える。
- ・ 市民活動支援コーナーの相談件数について、数値は増加傾向にあるのか。
 - ⇒ （事務局）新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前は100件を超えることもあったが、コロナ禍により活動団体や相談機会が減少し、相談件数も半数近くまで落ち込んでいた。昨年度からやしお生涯学習館の利用ルールが緩和され、相談も増え78件という結果となった。
 - また、相談内容についても、コロナ禍以降はSNSやPC、インターネットの利用方法や、Web申請のみとする助成金の申請方法に関する相談が増えている。
- ・ 年間78件とすると、一カ月当たり6～7件程度に思われる。電話よりも対面の相談が多いのか。
 - ⇒ （事務局）電話による相談は、生涯学習関連のものが多い（活動を始めたので団体に加入したい等）。一方、対面ではSNSの利用方法などが多く、ご自身のスマートフォンなどを持参し職員と画面を見ながら操作を進めるので、相談1件に対し対応に2時間ほどかかることもある。
- ・ 事業報告に「市民活動を広めるためのSNS実践講座」を実施しているとのことだが、コロナ禍以降の相談内容や、市民活動状況調査でSNSの利用について講座を実施してほしいという方が多いという結果に対して、需要に対する対応が早く良いことだと思う。また、令和5年度の事業計画にDX推進事業があり、今後さらなる展開が期待できる。
 - ⇒ （事務局）令和5年度のDX推進事業については、Instagramを利用し活動を発信することを目的とした基礎講座とステップアップ講座（情報のリスク管理を含む）の開催を予定している。
- ・ 茅ヶ崎市では市民主導のイベント開催や情報発信が活発である。市民主導でSNSによって市民活動を発信していくことは、重要なことだと思うので、今後も推進していただきたい。

- ・「市民活動を広めるためのSNS実践講座」はとても良い取り組みだと思う。こういった講座を実施していることを、もっと市民に周知していただきたい。また、多くの市民が参加できるように回数などを検討してほしい。
- ・やしお生涯学習館で市民活動団体の紹介動画を作成していたと思うが、現在も継続しているのか。
⇒（事務局）令和3年度に、新型コロナウイルス感染拡大防止による施設の利用制限のため市民活動の場がなくなってしまい、情報発信の一助のため10団体の紹介動画を作成し、動画投稿サイトおよび市ホームページにて周知した。令和4年度以降、継続できていない状況だが、今後少しずつでも着手できるよう検討していく。
- ・やしお生涯学習館と社会福祉協議会で情報公開一覧などを作成しているが、定期刊行物なども協働で発行できると良いのではないか。
- ・中間支援組織とは、市民活動を推進するため、情報提供や指導者の養成、学習の場の提供など様々な機能を有するが、やしお生涯学習館については活動者同士を「つなぐ」機能を強化するべきと考える。
- ・新型コロナウイルスの影響で3年近く市民活動が停滞しており、令和4年度に実施した市民活動状況調査の結果を見ても、会員数の減少など各団体が多くの課題を抱えていることがわかる。それぞれのニーズに応えられる強力で専門性の高い組織（中間支援組織）が必要と考える。

4. その他

次回の委員会について

令和5年9月27日（水）を予定

5. 閉会